

【岡垣町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申（令和3年1月）において、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が示されています。

本町においても、1人1台端末やICT機器を活用した基本的な学習の定着、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から学習活動の充実を図り、ICT機器を活用した主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

そのため、教職員のICT活用指導力の向上を目指しICT活用に関する研修の推進、ICTの効果的な活用を研究・実践していきます。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に児童生徒の1人1台端末及び電子黒板などICT環境の整備・充実や通信ネットワーク基盤の整備を実施し、児童生徒が日常的に使用するデジタル教科書、授業支援ソフト、デジタルドリルなどの各種デジタルツールを活用できる環境を構築しました。

一方、導入後4年以上が経過したことによって、機器の故障、破損やネットワーク通信帯域の不足が懸念されることとなっています。これについては、適切な機器更新の継続的实施、及びネットワークアセスメントを実施して通信帯域の不足を改善する必要があります。

3. 1人1台端末の利活用方策

学校ICT環境整備により導入した児童生徒の1人1台端末の有効活用を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の改善等に活かすため、ICT技術に関して知見を有するGIGAスクールサポーターを継続して配置するとともに、ICT支援員による教職員を対象とした研修を更に充実させ、ICTを活用した指導力の向上を図る。

また、AIドリルを学校、家庭での学習に取り入れ、児童生徒が端末を活用しながら自身の特性や理解度、進度に合った課題に取り組める環境の整備を目指す。

これらを円滑に実現していくためには引き続き、端末、電子黒板、デジタルツール等の整備、及び通信ネットワーク基盤の安定稼働を維持していくことが重要である。